

史泉

第四十七号

日清貿易における長崎来航唐船について(4)……………松浦 章 (1)
——清代鳥船を中心に——

式百石旗本知行所覚書……………小西愛之助 (17)
——摂津国嶋上郡高浜村北組——

天竜寺塔頭・宝徳院について……………泉 澄一 (39)
——その建立と再興——

淀川沿岸近代水利史料(大阪府下)〔右岸篇〕(2)……………服部 敬 (51)

書評 『居延木簡』……………大庭 脩 (83)

昭和四十七年度史学科卒業論文題目(一部・二部・大学院)…………… (89)

原弘二郎先生
古稀記念 東西文化史論叢

B 5 判 昭和四十八年一月二十日刊
五六〇頁 頒価六、〇〇〇円

原 弘二郎先生略年譜

「スコッチ・アイリッシュ」……………原 弘二郎

—「層」のあしあと—

原 先生のことども……………猪谷 文臣

早期アングロ・サクソン時代の王権と異教の伝統……………富沢 靈岸

「バーベンベルガー・フェーデ」に関する一考察……………早川 良弥

ミシェル・セルヴェ裁判について……………砂原 教男

君主交替の歴史的意味について……………植村 雅彦

—エリザベス一世からジェームズ一世への場合—

メッテルニヒ政策の一考察—体制の調停者— 広実源太郎

保守反動期におけるドイツ聯邦……………秋山 博愛

イワーノフ・ラズムニクの生涯と思想……………松原 広志

共産主義の戦争論……………川井 修治

地域の発展概念に関する一ノート……………青木 伸好

—P. Clavalの説を中心として—

「社会」の地理学的研究の系譜……………橋本 征治

—フランスの場合—

「シースターンの風車」探訪記……………末尾 至行

壁面古墳における四神図について……………網干 善教

—高松塚古墳の壁面に關連して—

高松塚の壁面とその年代……………有坂 隆道

飛鳥高松塚壁面の様式的考察……………横田 健一

—芸術精神史への一試論—

江州狛坂寺址大磨崖仏私見……………齊藤 孝

—我國奈良時代と統一新羅の石仏—

二年引き上げられた干支紀年法の源流……………友田吉之助

延喜式神名帳の一考察……………二宮 正彦

日本古代庶民の家族形態と農業経営規模……………福尾猛市郎

—主として奈良時代の経済単位について—

琉球の聖観念 セヂとマブイ……………上井 久義

—堵庵研究への序章—

上河宗義とその「商人夜話草」……………柴田 實

吉野作造と在日朝鮮人学生……………松尾 尊允

一九三〇年代における大阪の騒音問題……………小山 仁示

—都市公害問題史研究の一視点—

田園都市の理念とニュータウン……………宇田 米夫

吹田市山手町三丁目三

関西大学文学部史学科内

発行 原弘二郎先生古稀記念会

昭和四十八年度

関西大学史学会大会

日時 十二月八日(土) 午前十時半から
会場 文学部第二会議室

研究発表

マレイ半島東岸出土の一碑文 河本寛樹
和泉国日根庄の番頭制 辰巳衛治
両漢における国家祭祀の変遷 木保恒雄
江戸時代における唐船舶載医学書について
『御定医宗全鑑』を一例として
上野正芳

都市計画と関一

道饗祭と靈異記

第一次大戦後における水質汚濁問題に対する警告
芝村篤樹
井上正一
小田康徳

天理教の朝鮮伝道

撰津池田氏の文芸

古代末期の諸問題

特別講演

中国近代史における帝国主義と民衆の問題について
大谷 渡
鶴崎裕雄
齋藤 田香融

愛知学院大学教授 波多野善大氏
懇親会 午後五時から 於第一会議室

あとがき

◇富沢靈岸教授の新任 原弘二郎教授が三月末日をもって停年退職され、名誉教授となられた後任として、四月一日から富沢靈岸教授をお迎えすることとなった。教授は大正十五年奈良県に生まれ、旧制郡山中学校・松山高等学校を経て、昭和二十三年九月京都大学文学部史学科西洋史専攻を卒業、同大学院に進まれた。昭和二十六年から鳥根大学、ついで三十六年から金沢大学、さらに四十五年から大阪樟蔭女子大学に移り、教授をつとめておられた。本学にはすでに四十六年から非常勤講師として出講されていた。教授は西洋史とくにイギリス中世史を専攻され、『封建制と王政—イギリス封建制の特質—』(ミネルヴァ書房、昭和四十三年)、『イギリス中世史概説』(ミネルヴァ書房、昭和四十五年)などの名著や、ヴイノグラード『イギリス荘園の成立』(鈴木利章氏と共訳、創文社、昭和四十七年)の訳書など、数々の業績をあげられ、その緻密で着実な研究は学界でも定評のあるところである。昭和四十四年七月、「封建制と王政—イギリス封建制の特質—」のテーマで京都大学から文学博士の学位を授与さ

れておられる。

◇大学院の博士課程は、前号に記したとおり四月から開設された。

◇宇田米夫教授が四月から本学会長に就任された。

◇齋田香融教授は関西大学在外研究員として七月三十一日伊丹を出発、ヨーロッパに向かわれた。ドイツ・フランス・イタリア・オーストリア・ベルギー・イギリス・スイス・オランダ・ギリシア・スペインをめぐって十月三十日羽田帰着の予定である。

史 泉 第四十七号

五百円 (平30円)

昭和四十八年九月三十日発行

大阪府吹田市千里山

編集兼 発行所 関西大学史学会

代表者 宇 田 米 夫

振替大阪二六〇一六番

京都市南区東九条西岩本町八

印刷所 大宝印刷株式会社

魚澄惣五郎著

古社寺の研究 (復刻)

国書刊行会・四五〇〇円

47年9月

魚澄惣五郎著

歴史地理の研究 (復刻)

国書刊行会・二八〇〇円

47年9月

原弘二郎先生
古稀記念

東西文化史論叢

記念会・六〇〇〇円

48年1月

織田武雄著

地図の歴史

講談社・八八〇円

48年2月

小山仁示編

田淵豊吉議会展説集 (I)

— 哲人政治家の帝国議會での活動 —

関大出版広報部・
一八〇〇円

48年2月

柴田 實編

芦浦観音寺文書

滋賀県古文書等緊急調査報告一
滋賀県教育委員会

48年3月

元興寺仏教民俗資料研究所 (柴田實ほか) 編・発行

48年3月

壬生寺民俗資料緊急調査報告書

関西大学文学部編 (末永雅雄監修・網干善教ほか編) 48年3月
関西大学・五〇〇〇円

考古学資料図鑑

関西大学考古学研究室編・吹田市発行

吹田2号須恵器窯跡発掘調査報告

48年3月

柴田 實編

増補・手島堵庵全集

清文堂出版・八八〇〇円

48年4月

小山仁示編

戦前 昭和期 大阪の公害問題資料

ミネルヴァ書房
二三〇〇円

48年6月

水田紀久・有坂隆道 日本思想大系第43巻

48年8月

富永仲基・山片蟠桃

岩波書店・二〇〇〇円

横田健一著 創元学術双書

48年9月

白鳳天平の世界

創元社・三二〇〇円

末永雅雄監修・網干善教ほか編

48年9月

日本古代遺跡便覧

社会思想社・三九〇〇円

末永雅雄・三品彰英・横田健一 創元古代史選書3

48年10月

神話と考古学の間

創元社・六八〇円

関西大学校友会編 (横田健一・園田香融著)

48年10月

関西大学を築いた人々

校友会・一〇〇〇円